



エムダイヤ

処理能力5割向上

分離・破碎機20%小型化

【富山】エムダイヤ(富山県滑川市、森弘吉社長、076・476・0062)は、異素材混合物をリサイクルしやすい形状にする分離・破碎機「エコセパレ」シリーズに、従来機より外形を約20%小型化した「MT R-250」写真」を発売した。処理能力は廃棄物の種類によって30-50%向上した。本体のみの価格は900万円(消費税抜き)から。

同機は回転刃の数を6枚から8枚に増やし、出力15キロワットの搭載で処理能力を向上した。回転刃は従来機の1.5倍の毎分約900回転。処理能力の向上に合わせて



て、処理庫スペースを従来比で約30%広げた。カバーを側面全体を覆うように取り付け、安全性にも配慮した。

発売と同時に、愛知県一宮市内の知的障害者支援施設に納入が決まった。自転車の廃タイヤを破碎し、ゴムと金属ワイヤに分離する処理作業に使う。処理量は毎時100キロ程度。これまで職員が手作業で行っていたが、今後は入所者3人が作業にあたる。